

(表)

自然的環境保全配慮書

年 月 日

(宛先) 川崎市長

住所
氏名
電話

〔 法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名 〕

川崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例第30条の2第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業の名称			
事業の種類	<input type="checkbox"/> 建築行為	<input type="checkbox"/> 開発行為	事業の目的
事業区域の位置	川崎市 区		
事業区域の面積	m ²		着手予定 年 月 日
用途地域			工事予定期間
建蔽率	%	容積率 %	完成予定 年 月 日

1 自然的環境の現況

自然的環境の種別	<input type="checkbox"/> 樹林地 <input type="checkbox"/> 農地 <input type="checkbox"/> その他優れた自然的環境 (特筆すべき自然的環境・保存すべき樹木)						
土地の現況	種別	樹林地	農地	草地	その他	合計	特筆すべき自然的環境の概要 <input type="checkbox"/> 谷戸 <input type="checkbox"/> 水辺地 (湧水・池・湿地)
	面積	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
	比率	%	%	%	%	100%	
樹林地の現況	主な植生の状況		<input type="checkbox"/> 落葉広葉樹林 <input type="checkbox"/> 常緑広葉樹林 <input type="checkbox"/> 針葉樹林 <input type="checkbox"/> 竹林 <input type="checkbox"/> その他				
	主な樹種						
	平均樹高						
保存すべき樹木 保存樹木・まちの樹については、()内に指定番号を記入してください。	樹種	1.2mの高さの幹の周囲	樹高	小計	合計		
	()	m	m		保存樹木・まちの樹		
	()	m	m		本		
	()	m	m		保存樹木・まちの樹に準ずる樹木		
	()	m	m		本		
	()	m	m		本		
自然的環境の評価に関する事項 ()内は、該当するものを○印で囲んでください。	緑地総合評価		(A・B・C・該当なし) 緑地番号				
	地形	(崖線・谷地)がある。					
		傾斜度 (30度以上・30度未満)					
		急傾斜地崩壊危険区域 (内・外) 土砂災害警戒区域 (内・外)					
	動植物情報		希少な動植物が確認されて (いる・いない)。				
	緑と水のネットワーク	都市公園等と隣接して (いる・いない)。 都市公園等の名称:					
		(樹林地・農地・河川)と隣接している。					
	歴史・文化・レクリエーション	遺跡、神社、仏閣等の歴史的文化財と一体性が (ある・ない)。					
旧街道 (中原街道・大山街道・津久井街道)が通って (いる・いない)。							
遊歩道が通って (いる・いない)。							
眺望・景観	鉄道駅又は車窓から (見える・見えない)。						
	国道又は主要地方道から (見える・見えない)。						

(裏)

2 自然的環境の保全に関する配慮の方針

(1)	樹林地の保全、回復又は創出への配慮	
(2)	樹木の保存等への配慮	
(3)	動植物の生息・生育環境についての配慮	
(4)	表土の保全への配慮	
(5)	雨水等の浸透（水循環）についての配慮	
(6)	多様な自然的環境の保全又は回復への配慮	
(7)	循環利用（リサイクル）の取組	
(8)	緑化の推進	
(9)	地球温暖化対策への配慮	
(10)	景観の保全への配慮	
添付書類		(1)対象事業区域の現況図 (2)自然的環境を有する土地の求積図 (3)自然的環境を有することが確認できる現況写真 (4)付近の見取図 (5)その他市長が必要と認める書類

注 この書面は、正本と複写したものを各1部提出してください。